

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

## ろう者の日曜教室

私の高校野球 佐賀北高校 野球部副部長元監督  
来年3月で退任される 百崎 敏克さん (11月21日)

### I. 映像を交えて甲子園優勝を振り返る

2007年(平成19年) 監督としてはじめて甲子園の土を踏んだ。全くの無名でどこからきたか問われ、佐賀北高と言うと「がんばれ佐賀商(1994年全国優勝)と返された。いまや佐賀商業と並ぶ全国区になった。

#### 甲子園優勝までの死闘(ダイジェスト)

開幕試合は福井商 キャプテンがいつものようにじゃんけんで負けて最悪のクジを引いてきた。入場行進をベンチから見て、一番早く帰ることになる。「負けたら佐賀に帰られん。旅に出る。お前たちだけで帰れ」とミーティングで言った。勝てるとは思わなかった。副島のホームランが出て2-0の勝利。

2回戦 三重県の名門 宇治山田商業とは延長15回、4-4。1日おいての再試合は9-1で勝利。

3回戦 4試合目。初めてのナイターとなったが、選手はウキウキとして勝った。5-2。

準々決勝 東の横綱、優勝候補の帝京。春の選抜では、小城高校が一方的に敗れた相手だ。キャプテンがじゃんけんで負けて後攻め。帝京が先攻をとったのだ。北高は、金属バットで一番打てなかったチームと甘く見られていた。この試合も死闘だった。延長13回、井手が2アウト1、2塁にセンター前ヒットで勝利。4-3。



準決勝 長崎日大。いつもの練習試合のようだった。3-0。

決勝 広島の広陵。まさかここまで来るとは思わなかった。ミーティングで、よくここまでがんばった。佐賀の人も満足している。10年、20年後に振り返って、もうちょっとがんばっておけばよかったと思わないような試合をしようと言った。

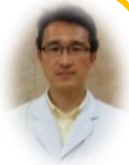
試合は、広陵の先取点で7回まで4-0、ヒット1本のみ。8回、あと2回で終わる。高校野球のすべてを出してこいと言った。8回表、待望の1点を取った後、副島がまさかの満塁ホームランを放って5-4逆転。9回表の広陵の反撃をしのいで優勝。4081校の頂点に立つ。甲子園に吹き荒れた風。



優勝した実感は、その日も翌日もなかった。新幹線で新大阪駅から帰ったが、取材はなく、気づく人もいなかった。博多駅が近づき、「花束贈呈の後には、真っ直ぐバスに直行してください」との指示があった。ホームからエレベーターで降りると黒山の人だかり。当時、ヒットしていた冬のソナタのヨン様が来ているのかと思っていた。びっくりした。花束をもらったから止まらずにという意味がやっと解った。優勝の大きさを知った。

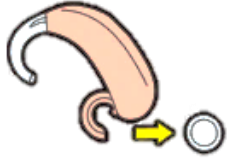
佐賀大和インターまでバスを追っかけ、上空ではヘリコプターがテレビの中継についてきた。パレードやセレモニーはなかったが、北高には2000人の人だかり。優勝の報告のみをした。(「II 私の高校野球を振り返る」は次面)

シリーズ (47)  
山口相談医の一言コメント



補聴器の電源 空気電池について その1

**補** 聴器を使っている方、検討されたことがある方には、「補聴器には小さな電池が付きもの」というイメージをお持ちかと思います。電気で作動する機器なので、なんらかの電源が必要です。



ポケット型以外の機器であれば、「ボタン（形）電池」と呼ばれる、小さな電池を補聴器本体に入れて使うことになります。

**ボ** タン形電池には、「酸化銀電池」「アルカリボタン電池」（コインのような「リチウムコイン電池」）などがありますが、補聴器に使われるのは多くの場合「空気亜鉛電池」というタイプです。



**こ** の電池は、マイナス極材料に亜鉛、プラス極材料に空気中の酸素を使います。プラス極には、空気を取り入れるための小さな穴があいています。新品はそこにシールがしてあって、空気穴を塞いでいます。これを剥がすと、そこから空気中の酸素が入り、化学反応によって電気が起こります。

**プ** ラス極材料に空気中の酸素を使うためプラス極のためのスペースが不要となるので、電池の中にマイナス極材料の亜鉛をたくさんつめることができ、小さくても大きな容量の電気を取り出すことができるしくみになっているそうです。 イラスト参照：<https://e-mimi.jp/kikoeru/>

## Ⅱ. 私の高校野球を振り返る

私は40年前、佐賀農芸高（現 高志館高）で監督をスタートした。佐賀東高で1つ、2つは勝ったが、夏は勝てなかった。吉丸先生に監督を変わって、1年目に初優勝し、部長として甲子園に行った。

6年後、神埼高校へ。そして、2002年から三養基高校で2年間一生懸命やった。母校、北高へは2004年に戻った。その際、野球部員には2つのことを守るよう指導した。「日誌を毎日書く」「くつを揃える」小さなことに目配りするように言った。それから4年目、2007年に甲子園優勝。

京セラの稲盛社長は「人生の結果、成果は、考え方×熱意×能力」と言っている。運でも偶然でもない。逆境を楽しむことが大切だ。結果だけ追い求めるから言われたとおりにする。陰の努力を見落とさず、プロセス、過程を大事にすることを忘れずに指導してきたつもりだ。

来年3月には、北高を辞める。甲子園優勝の久保投手は鹿島高校、副島選手は唐津工業で監督をしている。今年も教員試験に2名合格した。夢は実現するためにある。

この後、参加者から野球やソフトボール、ボーリングへのアドバイス、うどん屋の話など多くの質問がありました。

（手話通訳は、野球好きの高倉さん、野田さんでした。）

### サポートセンター職員が選ぶ 2021年(令和3年度)5大ニュース

- 1位 東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー 鶴崎さん故郷を走る
- 2位 電話リレーサービス、遠隔手話・文字通訳システム スタート
- 3位 新型コロナワクチン接種が情報保障つきで
- 4位 全国統一試験 手話通訳者5名、要約筆記者3名 合格
- 5位 武雄市、大町町、白石町 2年連続水害禍

編集後記：乾電池を入れ間違えるようになりました(。\_。)

### 巡回聴こえの相談

要予約

- ・1月26日(水)  
相知市民センター 別館2階
- ・2月17日(木)  
太良町総合福祉保健センター

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商ビル4階)  
TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705  
メールアドレス: [info@saga-mimisapo.jp](mailto:info@saga-mimisapo.jp)  
ホームページアドレス: <http://saga-mimisapo.jp/>

### <開館時間>

9:30 ~ 18:00

### <閉館日>

毎週月曜日、祝日